



ライオンズクラブ国際協会331-B地区

2024-2025年度

第4回キャビネット会議 議事録



日 時：2025年4月5日(土)

場 所：ホテルベルクラシック北見

北見市北6条西1-8-1

TEL 0157-31-1200



2024-2025 ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

北見キャビネット

国際会長 L. ファブリシオ・オリベイラ

国際テーマ

【We Serve (われわれは奉仕する)】

国際会長メッセージ

【足跡をしるす】

地区ガバナー L. 伊東 隆志

地区ガバナースローガン

【 明るく、楽しい、ライオンズ 】

北見キャビネット シンボルマーク ◇ コンセプト



331-B地区から、小さなハーブが
芽生えました。
皆様にさわやかな風をお届けしたいと
思います。

第4回キャビネット会議出席者名簿

役 職	氏 名	出欠	役 職	氏 名	出欠	役 職	氏 名	出欠
地区ガバナー 地区LCIFコーディネーター	L. 伊東 隆志	○	第1R第1Z ゾーン・チェアパーソン	L. 佐々木良吉	○	長期計画リサーチ委員	L. 木村 宏幸	○
			第1R第2Z ゾーン・チェアパーソン	L. 足立 計昌	○	長期計画リサーチ委員	L. 佐藤 健治	○
第一副地区ガバナー 地区GLTコーディネーター 長期計画リサーチ副委員長 OSEALフォーラム運営 特別委員会委員長	L. 大島 尚久	○	第2R第1Z ゾーン・チェアパーソン	L. 高橋 昭典	○	運営委員長(副幹事) 地区大会委員長	L. 田尾 忠正	○
			第2R第2Z ゾーン・チェアパーソン	L. 菅野 道	○	運営副委員長(副幹事)	L. 辻 太郎	○
第二副地区ガバナー 地区GLTコーディネーター 長期計画リサーチ副委員長 公益財団法人日本ライオンズ 特別委員会委員長	L. 広瀬 寛人	○	第3R第1Z ゾーン・チェアパーソン	L. 豊田 典正	○	運営副委員長(副幹事)	L. 笈田 壽一	○
			第3R第2Z ゾーン・チェアパーソン	L. 太田 好啓	○	運営副委員長(副幹事)	L. 松田 佳陽	○
前地区ガバナー 地区名誉顧問 長期計画リサーチ委員長	L. 藤原 回向	○	第4R第1Z ゾーン・チェアパーソン	L. 柳澤 豊	○	運営委員(副幹事)	L. 鳥越 孝枝	○
地区名誉顧問会議長 長期計画リサーチ委員	L. 中谷 宣巨	○	第4R第2Z ゾーン・チェアパーソン	L. 明石 欽弥	○	運営委員(副幹事)	L. 寺中 賢武	×
地区名誉顧問	L. 阿部 昭	○	第4R第3Z ゾーン・チェアパーソン	L. 藤田 隆明	○	運営委員(副幹事)	L. 大原 崇義	○
地区名誉顧問	L. 香川 俊雄	○	第5R第1Z ゾーン・チェアパーソン	L. 脇坂 敏夫	○			
地区名誉顧問	L. 奥山 壽雄	○	第5R第2Z ゾーン・チェアパーソン	L. 松平 範慶	○	第1R地区マーケティング・YCE委員 第1R第1Zゾーン委員	L. 綿貫 裕介	○
地区名誉顧問	L. 山田 正昭	×	第5R地区 マーケティング・YCE委員			第2R地区 マーケティング・YCE委員	L. 貝谷 義直	○
地区名誉顧問	L. 佐藤 信雄	○				第3R地区 マーケティング・YCE委員	L. 磯部 正博	○
地区名誉顧問	L. 井ノ浦義明	○	地区大会副委員長	L. 永田 裕一	○	第4R地区マーケティング・YCE委員 第4R第3Zゾーン委員	L. 山本 秀一	○
			会則 コンプライアンス 委員長	L. 白川 利幸	○			
キャビネット幹事(全般) 長期計画リサーチ委員	L. 二宮 雄一	○	会則 コンプライアンス 副委員長	L. 山本 一男	○	第1R第2Z ゾーン委員	L. 川目 撰	×
キャビネット会計(広報)	L. 山田 兼士	○	会則 コンプライアンス 副委員長	L. 高橋 哲也	○	第2R第2Z ゾーン委員	L. 西脇 務	×
キャビネット副会計(財務) マーケティング・IT委員長	L. 伊藤 慎司	○	国際大会・国際協調 委員長	L. 岡村 廉明	○	第3R第1Z ゾーン委員	L. 石邑 義幸	○
地区GMT コーディネーター	L. 矢吹 定夫	○	国際大会・国際協調 副委員長	L. 小田 大典	○	第4R第1Z ゾーン委員	L. 小路 泰孝	○
地区GST コーディネーター	L. 喜多 武彦	×	薬物乱用防止・献血献眼 委員長	L. 山中 大輔	○	第4R第2Z ゾーン委員	L. 阿部 潤司	○
地区SCP・FWT コーディネーター	L. 大津 幸三	○	薬物乱用防止・献血献眼 副委員長	L. 小滝 愛子	○	第5R第1Z ゾーン委員	L. 寺田 忠弘	○
地区GET コーディネーター	L. 村山 聡	○	レオ・青少年育成 アラート YCE委員長	L. 浅野 敬一	○	第5R第2Z ゾーン委員	L. 野口 智史	○
地区GLT 副コーディネーター	L. 坂本 斉	○	レオ・青少年育成 アラート YCE副委員長	L. 佐藤 豪一	○			
地区GMT 副コーディネーター	L. 大和田 収	×	レオ・青少年育成 アラート YCE副委員長 第3R第2Zゾーン委員	L. 清野 芳明	○	オブザーバー (釧路みなと)	L. 大森 一 道	○
地区GST 副コーディネーター	L. 佐藤 正明	○	レオ・青少年育成 アラート YCE副委員長	L. 小野寺一史	×	オブザーバー (帯広中央)	L. 中原 弘之	○
地区SCP・FWT 副コーディネーター	L. 木下 裕幸	×	マーケティング・IT 副委員長	L. 板垣 浩	○	オブザーバー (白滝)	L. 奥山久美子	○
地区GET 副コーディネーター	L. 松下 賢二	○	平和ポスターコンテスト 委員長	L. 折笠 充	○	オブザーバー (釧路みなと)	L. 佐藤祐雅子	○
			平和ポスターコンテスト 副委員長	L. 上野 恭裕	○			
地区会計監査委員	L. 中川 弘貴	×				事務局長	遠藤めぐみ	○
地区会計監査委員	L. 松本 恵治	×				事務局員	工藤かずみ	○

第4回キャビネット会議次第

		司会;運営副委員長	L.	まつだ	としあき	
1	開会宣言並びに開会ゴング	地区ガバナー	L.	いとう	たかし	
2	出席者の紹介	運営副委員長	L.	まつだ	としあき	
3	物故会員への黙祷	運営委員長	L.	たお	ただまさ	4頁
4	地区ガバナー挨拶	地区ガバナー	L.	いとう	たかし	
5	副地区ガバナー挨拶	第一副地区ガバナー	L.	おおしま	なおひさ	
		第二副地区ガバナー	L.	ひろせ	ひろと	
6	キャビネット報告					
	報告第1号 :複合地区各種会議	CAB幹事	L.	にのみや	ゆういち	6頁
	報告第2号 :第71回地区年次大会 大会委員長変更について	CAB幹事	L.	にのみや	ゆういち	55頁
	報告第3号 :第71回地区年次大会組織表	CAB幹事	L.	にのみや	ゆういち	56頁
	報告第4号 :会員並びにクラブ活動状況報告集計表	CAB幹事	L.	にのみや	ゆういち	57頁
7	審議事項					
	議長就任	地区ガバナー	L.	いとう	たかし	
	議案第1号 :地区ガバナーの選出について	CAB幹事	L.	にのみや	ゆういち	62頁
	議案第2号 :第72回地区年次大会開催地並びにホストクラブ	CAB幹事	L.	にのみや	ゆういち	62頁
	議案第3号 :第一副地区ガバナーの選出について	CAB幹事	L.	にのみや	ゆういち	62頁
	議案第4号 :第二副地区ガバナーの選出について	CAB幹事	L.	にのみや	ゆういち	63頁
	議案第5号 :標準版地区会則及び付則削除について	CAB幹事	L.	にのみや	ゆういち	63頁
	議案第6号 :地区シェアリング交付金の使用について	CAB幹事	L.	にのみや	ゆういち	63頁
	提出議案 :地区内クラブより提出議案	CAB幹事	L.	にのみや	ゆういち	68頁
8	地区LCIFコーディネーター報告		L.	いとう	たかし	
9	地区GLTコーディネーター報告		L.	ひろせ	ひろと	
10	地区GMTコーディネーター報告		L.	やぶき	きだお	
11	地区GSTコーディネーター報告		L.	き	たけひこ	
12	地区スペシャルティクラブFWTコーディネーター報告		L.	おおつ	こうぞう	
13	地区GETコーディネーター報告		L.	むら	あきら	
14	各委員会報告					
	長期計画リサーチ委員会	委員長	L.	ふじわら	えこう	
	地区大会委員会	委員長	L.	たお	ただまさ	
	会則委員会／コンプライアンス委員会	委員長	L.	しらかわ	としゆき	
	国際大会・国際協調委員会	委員長	L.	おかむら	きよあき	
	薬物乱用防止・献血献眼委員会	委員長	L.	やまなか	だいすけ	
	レオ・青少年育成委員会／アラート委員会／YCE委員会	委員長	L.	あさの	けいいち	
	マーケティング・IT委員会	委員長	L.	いとう	しんじ	
	平和ポスターコンテスト委員会	委員長	L.	おりかき	みつる	
15	質疑及びその他					
16	閉会宣言並びに閉会ゴング	地区ガバナー	L.	いとう	たかし	

第4回キャビネット会議 議事録

日時 2025 年 4 月 5 日(土) 15:00～17:30

場所 ベルクラシック北見

司会 キャビネット運営副委員長 L. 松田 佳陽

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 開会宣言並びに開会ゴング | 地区ガバナー L. 伊東 隆志 |
| 2. 出席者の紹介 | 運営副委員長 L. 松田 佳陽 |
| 3. 物故者への黙祷 | 運営委員長 L. 田尾 忠正 |
| 4. 地区ガバナー挨拶 | 地区ガバナー L. 伊東 隆志 |

キャビネット会議の始まりにあたりまして、ご挨拶をさせていただきます。本日はお天気にも恵まれましてですね、皆さんに無事にお集まりいただき誠にありがとうございます。やはり、遠くから来ていらっしゃるんで実はいつもドキドキしてます。なんかあったらどうしようっていつも思っています。ぜひ帰りもですね、ご安全にお帰りいただくように、よろしく願いしたいと思います。さて、私、今回が最後のキャビネット会議、あと年次大会が控えてるんですけども、最後のキャビネット会議ということで、皆様方に感謝を申し上げたいなというふうに思っていました。ライオンズクラブっていうのは、やっぱり世代も地域も、職業も環境も育ってきた環境も違う方が集まってきて、本当にあのコミュニケーションをとるのが難しいなと思ってましたけれども、皆さんに支えられてですね、一生懸命やってきたつもりなんですけど、まあ至らない点は多々あったと思いますが、なんとかですね、ここまで来ることができました。あともうちょっとでございますんで、なんとかお付き合い願いましてですね、次の大島先生にうまく引き継げたらいいなというような、僕の今の本当の願いでございます。つきましては、皆さんに大変お世話になりましたですね。いろいろ動いていただいたことに対しまして感謝申し上げます。誠にありがとうございます。先般 LCIF のチャリティボウリング大会というのを皆さん各地で開催していただきました。なんと 200 名の参加がございました。ささやかながら私のポケットから景品を配らせていただきましたので、ぜひ当たった方にはおめでとうと言う事でお渡ししたいと思います。LCIF の数値としては、後で報告の中で述べさせていただくんですけども、全国で最下位を争っているという状況で、数字的にはちょっと寂しいなと思う部分があるんですが、寄付していただいた人数ですね、去年の 1.5 倍あります。寄付していただいた方が増えた、底辺が増えたというのはそれは大喜びでございます。これに関しても皆様にご協力いただきました。誠にありがとうございます。それからですね、松下賢二さんが今日いらっしゃる、あ、松下さん、前回 GET のサブコーディネーターを出さなきゃならんということでですね、お話しさせていただきましたけれども、既にですね、うちの地区は松下さんが副コーディネーターという立場でいらっしゃいますので、そのまま登録だけさせていただいて、それで任命状とかそういうものがないよということでございまして、大変簡素なやり方なんですけども、中央の方からはですね、GET のサブコーディネ

ーター、ここ広いでしょ、だからコーディネーター1人じゃ足りないだろうから、サブコーディネーターを作りなさいということでやったんですけども、もう既に松下さん、副コーディネーターでございますので、サブと副、どう違うのか、英語と日本語の違いでございまして、そのまま任務を持っていただきたいということでございます。それからですね、上の方から言われているのはですね、ミッション 1.5 の研修をやれと。そして今のコーディネーターの方、それからゾーン・チェアパーソンの方、それから次期の大島先生の時のコーディネーター、それからゾーン・チェアパーソンも出て、大体 40 人から 50 人くらいになろうかと思うんですけども、それで研修会をやれという要請が来ておりまして、日程だとか今検討中でございます。ぜひですね、また遠いところ北見なりに集まっていただくことになるんですけども、ご協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。さて、僕の用意したご挨拶は以上でございますが、引き続きですね、僕が終わりましてですね、大島尚久ライオンのガバナーのキャビネット運用に関しまして、ぜひともよろしくお願いいたします。本日はありがとうございます。

5-1 第一副地区ガバナー挨拶

第一副地区ガバナー L. 大島 尚久

皆さんこんにちは。この前、第 1 回が終わったばかりという感じがしております。それなのにもう 4 回目です、来年早くこの 4 回目を迎えたいなと。伊東ガバナーが羨ましく思います。私からは、今現在どんなことをしているのかというのを、少しだけお話しさせていただきますと思います。

次期のキャビネットを運営するには、早め早めに準備をしろと。ミッション 1.5 他いろいろなことがございます。7 月始まってから用意するには全然遅いんだということで、早めに準備をするということ、いろんな研修会で言われます。実際に早めに動いております。2 月にコーディネーターの方にお集まりいただき、3 月の初めにゾーン・チェアパーソンの方にお集まりいただき、そして、今月にはそのフォローでズーム会議をしたいなと思っております。その時に言うことは行動計画を立てましょうと、ミッション 1.5 のためには行動計画を自ら立てて、そしてそれを自分で立てたものですから、自分でどういうふうに行動していくか、いつまでにどういうことを、そしてその成果が上がらなかった場合は、見直していくというようなことですね、行動計画、行動計画ということで、ミスター行動計画といわれている昨今でございますが、それをですね、個人の方にも、それからゾーン・チェアパーソン、今度三役スクール、そこで三役の方にも配っていただいて、実際にその通りにするんだと。先程も伊東ガバナーからミッション 1.5 ということで、次期の国際会長 A. P. シン、インドのその方が国際会長になるにあたって、ミッション 1.5 のために行動するようにいわれております。先ほども 331-B で研修会をしようということになりましたが、6 月の初めにはですね、名古屋に行きまして私とそれから GMT コーディネーター、GET コーディネーターの予定者の方と 2 泊 3 日で行ってまいります。これはなんとですね、交通費、宿泊費、食事代、すべてあちら持ちでございますので、そのぐらい力を入れてミッション 1.5 を取り組んでいくということで、全国からですね、何十人も集められているというイベントで、そこでもこのようにやりなさいと指導されます、またパワーアップして

取り組んで頑張っていきたいというふうに思いますのでよろしくお願いいたします。また後で出番がございますほかのこともお話ししたいと存じます。どうぞ一日よろしくお願いいたします。

5-2 第二副地区ガバナー挨拶

第二副地区ガバナー L. 広瀬 寛人

皆さま、こんにちは。第二副地区ガバナーということで、非常に気持ち的にはゆったりとしていた始めだったのですが、すでにいろんな仕事回ってくるようになりまして、今、皆さまのお手元の 62 ページ要録にありますが、議案の第 2 号で、釧路のキャビネットのホストクラブの承認の件が出ております。実は 2 月に行われました ZOOM での第 3 回目のキャビネット会議を終わった後、諮問委員会がございまして、私は第 2 リジョンということで、高橋ゾーン・チェアパーソン、菅野ゾーン・チェアパーソンが開催していただいている諮問委員会に出席をさせていただき、そこで私がお話ししたことは、もう年が明けて間もなくすると、私がこういうホストクラブのお願いに、各クラブの会長さんのところをお願いにあがって、ホストクラブとして協力をしますよという書類にサインをいただかないといけない時期になってきました。悠長なことが言ってもらえない時期になりましたということで、第 2 リジョンの各クラブの会長さんにご挨拶をさせていただきましたが、本当にあっという間にこの 2 副、1 副ということの仕事が、回ってくるなということを実感しております。もう一点がですね、ここにいらっしゃる名誉顧問の皆さんは経験されているんですが、一副第一副地区ガバナーのですね、シカゴ、アメリカ、シカゴに 2 月ぐらいの寒い時に呼ばれて、缶詰になって 3 日間、4 日間研修がご経験あったかと思うんです。それがどうやらこれだけ ZOOM が発達してきた時代になって、まあ、費用対効果といいますか、世界中からガバナーエレクト、まあ予定者の方を呼んで開催する、その飛行機代から何か見ていた国際協会が、それと ZOOM の部分を勘案して、どうやら私がその研修に当たる時から ZOOM に代わるそうですね。そういうことを情報をいただきました。あの、私が感じたことは、やっぱり時代が進むと、あの置き換えることは置き換えてということも、いよいよあの国際協会もそんなことを考えていたのかなというふうに感じました。私が所属している富良野ライオンズクラブも、実は会費の値上げの検討があったときに、いろいろと精査をして広報誌やなんかを、例えばホームページに変えるとか、いろんなことをまだまだ時代に合わせて、削減できるどころ、もしくは縮小できることがあれば、それをしていきましょうということを実は話し合いまして、7 月から新しい対策させていただきましたけど、各クラブの皆さんの運営もしっかり、このキャビネットもしっかり人数が減っていく中で、やっぱりかけられるべきところと削減できるべきところと本当に検証しながらやっていかなければならないなというふうに感じております。またあの今の伊東ガバナーも第 4 コーナー曲がって最終ストレートの踏み込みに入っていると思います。私も後ほど GLT のコーディネーターの報告でもお話しさせていただきますが、残りの時間、お力を貸していただければと思います。よろしくお願いいたします。以上です。

6. キャビネット報告

キャビネット幹事 L.二宮 雄一

報告第1号：複合地区各種会議

報告第2号：第71回地区年次大会 大会委員長変更について

報告第3号：第71回地区年次大会組織表

報告第4号：会員並びにクラブ活動状況報告集計表

7. 審議事項

議長就任

地区ガバナー L.伊東 隆志

——ライオンズ必携にて、既定の通りこれより先は地区ガバナーが議長を務める——

議長 地区ガバナー L.伊東 隆志

開会宣言

それでは審議事項に入らせていただきます。審議事項に入る前にですね、議案の第5号というのが書かれているんですけども、会則及び付則の削除についてという議案なんでございますが、これはこの必要性がなくなったということで、議案から削除をお願いしたいと思います。理由を簡単にお話しさせていただきますと第3リジョン第2ゾーンでゾーン・チェアパーソンの候補としましてですね、元ガバナーであるライオン香川が推薦されたのでございます。これをそのまま適用するためにはですね、会則を変更する必要があると。それから一部削除しなきゃならないことがあるということでございました。付則の第2条、第7項(C)では地区ガバナーとして全期または過半の期間を務めた経験がない、そういう人がゾーン・チェアパーソンの候補になるということなんですけれども、これにあの、抵触するということでございました。しかしながらですね、あのライオン香川が推薦ということではなくてですね、とりあえずこのゾーン・チェアパーソンの席が空席になるということで進めさせていただきたいと思いますので、とりあえずまだ探してるんだよというような状態で空席のまま進めたいということになりますので、この議案を削除させていただこうと思います。

議案第1号：地区ガバナーの選出について

キャビネット幹事 L.二宮 雄一

議案第2号：第72回地区大会開催地並びにホストクラブ

キャビネット幹事 L.二宮 雄一

議案第3号：第一副地区ガバナーの選出について

キャビネット幹事 L.二宮 雄一

議案第4号：第二副地区ガバナーの選出について

キャビネット幹事 L.二宮 雄一

質問意見無し 議案第1号・2号・3号・4号を全員拍手にて承認

議案第5号：標準版地区会則及び付則削除について

キャビネット幹事 L. 二宮 雄一

議案取り下げ

議案第6号：地区シェアリング交付金の使用について

キャビネット幹事 L. 二宮 雄一

―次期釧路キャビネットでの使用のため第一副地区ガバナーL. 大島尚久より詳細説明―
第一副地区ガバナー L. 大島 尚久

すいません。時間を少しだけいただければと思います。地区シェアリング交付金というものをもし使おうとしたら、キャビネット会議でスムーズに採択され、OKをいただいてから、いろんな手続きがあります。複合に出してサインをいただかないとならない。そしてまたオセアルの方に出して了解いただかないとならない。もし、うまくいかないところと言いますか、ここは変えた方がいいというようなところがあれば、またそれを書き戻されて、また書いて申請をしなければならぬということで、次期のシェアリング交付金を使おうとしたら、今から動かないといけないということで、次期のことはありますが、今期のキャビネット会議に出させていただきました。申請書を読んでいただければわかるんですが、331-B地区というのは非常に特殊な地区でございまして、3つの海に囲まれていくということでございます。太平洋、日本海、オホーツク海ということで、そういう地区はなかなか日本にないということで、その海をですね、大変な社会問題にもうすでになっているんですが、海洋プラスチックが非常に多い、日本が特に多いということで、それについての啓蒙活動を小学校六年生にしたいというふうに思いました。その候補はということなんですが、たくさん小学校がありますので、これを全部回るわけにはいきませんので、講師を呼び授業を行いDVDに落としまして、それを自治体に配らせていただいて、授業に使っていただくという方向で、交付金を使用し実現しようという作戦を立てました。授業は、釧路、そして留萌みなどの柳澤Lのご尽力で留萌小学校、笈田L、寺中Lのご尽力で網走で行う予定です。少し海洋プラスチック問題のご説明をいたします。5mgのマイクロプラスチックといって、これは実際にこの海に入ってしまうと分解されないんですね。ずっと残っていくもので、それを魚が食べたりということで、非常に問題になっているわけでございます。そういうことで、海に面しているクラブの方は関係あるかもしれない、内陸にあるクラブの方は関係ないと思っているかもしれませんが、実は川にプラスチックが流れ込んで、そして海に出ていくので、川の周辺も清掃しないと海にプラスチックが流れているということでございます。他人事ではないかなというふうに思いますので、ぜひ、内陸の方にもプロジェクトを知ってご協力いただきたいと思います。1,100,000万円のシェアリング交付金申請でございまして、皆さんからのLCIFを使わせていただきたいと思います。5,000ドルいかなければクラブじゃなくて地区で蓄積されます、高井ガバナーの帯広

キャビネットの時に地区シェアリング交付金を使って以来、溜まっているのが 5,000,000 万、今年度分またプラスされ、さらに追加されると思いますので、これだけではなくて、来年また違うことでもシェアリング交付金使いたいなというふうに思っておりますので、その時はまたご相談させていただきますのでよろしくお願いいたします。頑張って、キャビネットとしてですね、取り組んでいきたいというふうに思っておりますので、ご支援よろしくお願いいたします。以上です。

稚内ライオンズクラブ L. 藤田 隆明

稚内ライオンズクラブから派遣されております藤田と申します。あの、すいません、あのシェアリング交付金申請書⑥a 下から 2 行目 400 校へ配布というふうに書かれているのに対し、隣のページの支出 DVD ダビングで 500 名、レターパック 500 カ所。これで 400 と 500 の差異が出ています。どうせなら 500 と書いた方がよろしいのかなと思ひまして、ご質問させていただきます。

第一副地区ガバナー L. 大島 尚久

ご質問ありがとうございます。400 というのは正確には今私把握していませんが、小学校が 380 であの 331-B 地区にですね小学校がそのぐらいあるんですね。ですから少し余裕を見て、400 枚ぐらいということでございます。それプラスですね、あの各クラブに DVD を届けたいというふうに思っております。それプラスですね、また違うところからも欲しいと、まあ、例えば全国ですね、まあ、地区から欲しいというようなことがあればですね、またそれもあの、まあ差し上げるということも含めて、少し多めに予算しております。その差が 100 ぐらいよろしいでしょうか。

北見中央ライオンズクラブ L. 浅野 敬一

北見中央ライオンズクラブ浅野です。あの地区で使うあのシェアリング交付金ですよね。で、これ次年度使うシェアリング交付金だということで、いや、私わかんないんですよ。で、これを今回のキャビネットで決めていいものなのかどうなのかっていうのがちょっとわからないんで、その辺ご説明お願い致します。

第一副地区ガバナー L. 大島 尚久

ご質問ありがとうございます。私もあの、次期使うのを今回のキャビネット会議に出すのがどうなのかということで、オセアル調整事務局の方に問い合わせ何回かさせていただいて、早めに出した方がいいということで、あの、全く問題ないというふうに回答いただいております。

議案第 6 号を全員拍手にて承認

提出議案

キャビネット幹事 L. 二宮 雄一

第 4 回キャビネット会議提出議案 無し

審議終了

伊東ガバナー 議長解任

各コーディネーター報告

8. LCIF コーディネーター L. 伊東 隆志

それでは、LCIF のお話をさせていただきたいと思います。先般、LCIF のチャリティボウリング大会にはですね大勢の方が参加していただきました。200 名が参加していただきました。ボウリング場のない町もございしますが。それでもボウリング場のあるところに行つてですね、もうやっていたクラブもございします。大変ありがとうございます。200 名が参加しましてですね、一人 13 ドルというのを献金していただくということでございます。さて、それも含めましてですね、LCIF の献金状況なんですけれども、件数がですね、期首からの累計で 1,603 件寄付がございました。金額で 73,346 ドルでございます。で、去年の件数は 958 件でございましたので、645 件、件数が増えてですね、皆様の本当にご協力に大変感謝を申し上げたいと思います。ありがとうございます。ただ、金額的にはですね、去年よりちょっと少ないかなというふうに思われますので、まだ時間がございますので、寄付の方もですね、是非ともよろしく願いしたいと思います。さて、寄付の中身なんですけれども、ロサンゼルス火災がございました。それで寄付をお願いしているところなんでございますが、また日本においてもですね山火事が起きてその対応をどうしようかというのを今考えている最中でございます。どこの地区分けをしようかなとか、そこら辺がまだちょっと定かではございませんので、日本の山火事についてはもうちょっとお時間をいただきたいなというふうに考えているところでございますが、災害指定で寄付をいただくについては全く問題ありませんので、もしできましたらですね、寄付をお願いしたいなというところでございます。LCIF から以上でございます。

9. 地区 GLT コーディネーター 第二副地区ガバナー L. 広瀬 寛人

GLT コーディネーターということで指導力育成になります。第 1 回目のキャビネット会議の時にですね、私があの各クラブの中で、指導力、特に新入会員の方にライオンズをよくわかっていただいて、早期の退会防止に努めていただきたいということでお話をさせていただきました。そんな中、運営副委員長のライオン箕田が過去にクラブで使われた指導力育成、特に新入会員向けの研修の素晴らしい資料を PDF にして、各クラブに事務局の方から送信をさせていただきました。それと同時にライオンマガジンとウェブマガジンの登録を呼びかけをいたしまして、一人でも多くの方にマガジン誌のウェブ登録をお願いするということでお話をし、その後、ライオンポータル登録についてということで、お願いをさせていただきました。ありがたいことに、1 回目のキャビネット会議が終わった後に、すぐ第 4 リジョン明石ゾーン・チェアパーソンの方から、ぜひ名寄・美深・士別合同で諮問委員会、合同といっておめんなさい、諮問委員会を開催するので、その中で説明をして

ほしいということでお声がけをいただき、そちらをスタートして、第3リジョンでは豊田ゾーン・チェアパーソン、太田ゾーン・チェアパーソンからお声がけをいただき、3月の諮問委員会に出席をさせていただき、ライオンポータルについてのご説明をさせていただきました。その後、第4リジョン第1ゾーン柳澤ゾーン・チェアパーソンからもお声がけをいただきまして過日研修会をさせていただき、来週にはまた同じく第4リジョン第1ゾーンの方にですね、合同セミナーということで、お声がけをいただきました。ガバナーのいらっしゃる第5リジョンと第一副のいらっしゃる第1リジョンについては安心しておりますので、2・3・4と回らせていただきまして、みんなで楽しく勉強させていただきましたけど、その成果はこれから出てくると思います。登録することもしくはライオンポータルにつながる事が目的ではありません。目的はリーダーシップを高めることが目的で、そのための手段として有効なものをぜひ活用いただきたいということで、今年一年声掛けをさせていただきましたが、残りの期間はですね、ぜひ最後の追い込みと思っておりますので、登録の方を呼びかけていただきたいと思います。その中でですね、ライオンポータルの登録というか、接続がなかなかうまくいかないというのが、ほとんどの方からお声がけをいただいております。一つはですね、国際協会の方に、皆様の一人一人の会員番号とともにメールアドレスの登録というのがもう出されているんですが、実は個人のメールアドレスが皆さんが普通に持っていない時代は、事務局の方が、例えば各クラブの事務局だとか、会長のメールアドレスみたいなのを全部統一で入れてしまっていたりとか、そういった形で、自分が今使っているもののデータと違って登録されている方が多ございます。それがうまく合致しないので、ライオンポータルでうまくつなげないという事案を多く聞いています。皆様の各クラブにお配りしたライオンポータルへのつなぎ方の一番最後のページにですね、あのオセアルの質問があったという事務局の電話番号が書いていますが、そこに電話をしていただくと、自分の名前とクラブの会員ナンバー伝えていただくと、そこですぐライオンポータルにつながるように修正をしていただけます。そんなことをですね、お話をいただいて、一人でも多くの方に活用いただくよう、残りの時間を利用していただきたいと思います。以上でございます。

10. 地区 GMT コーディネーター L. 矢吹 定夫

矢吹です。よろしくお願いいたします。まずは SWOT 分析なんですけれども、稚内キャビネットで第1回目行いました。第2回目も最近ですがやりまして、で、12のクラブに回答いただきました。ですから、60クラブ中、69クラブ中、60クラブ回答で、残りは9クラブということで、まあこれもなんとかゾーン・チェアパーソンの皆さん促していただきたいなと思っております。それで、その集計表とですね。その回答 SWOT 分析の回答のまとめというものもあります。一番意見が多かったということをもとめたものであります。これは先ほどのコーディネーター会議においてですね、皆様にメールでお送りする、この文章をお送りしますので、これを自分の SWOT 分析、自らのクラブの SWOT 分析をと比較していただいて、問題点もしくはいい点、いい点ですね、いい点もあります。これをあの参考にして、また例会を開いていただきたいと思います。それと、その後に控えるんですが、行動計画、これは大島ライオンが今進めようとしている行動計画をしてもらうことになります。それ

でゾーンごとにですね、ゾーンごとに、まあその熱の入れようがちょっと違うのかなと私感じております。ですから、あのまあ、もし時間があれば後ほどゾーン・チェアパーソンの方からですね、行動計画がどこまで進捗しているのか、これをお聞きしたいと思います。以上、あの私の方からちょっとご報告をいたします。どうぞよろしくお願いいたします。

11. 地区 GST 副コーディネーター L. 佐藤 正明

本日ライオン喜多武彦欠席のため、私が報告させていただきます。各クラブアクティビティ、労力、献血協力していただいております。献血につきましては、106 件の 2,4920 になっております。まだこれから 3~4 ヶ月間ありますので、各クラブに協力をよろしくお願いいたします。以上です。

12. 地区スペシャルティクラブ・FWT コーディネーター L. 大津 幸三

大津です。どうぞよろしくお願いいたします。まず、SCP・FWT としてですね、会員状況の部分ですけども、キャビネット会議で何度も申し上げてますが、女性会員、それから家族会員の増強ということで、ぜひとも皆様方になんとか、増強の方に力を入れていただきたいということでお願いしておりましたが、あの、まあ、ミッション 1.5 になんとか貢献したいということでお願いしてありますが、SWOT 分析等ですね、結果として、皆様方の結果として、やはりあの対外的な PR がこれは大事だということで、一部そういう結果が出ているかと思います。そういうこともありますので、ぜひ SNS 等を通してですね、自分たちの活動を PR していただいて、加入の一つにいただければというふうに思っておりますので、引き続きまたあの努力をしていただきたいというふうに、各クラブに働きかけていただきたいと思います。それから、事業の方としてのヘアドネーションですけども、第 3 回キャビネット会議では 1 月までの実績を報告しましたので、2 月、3 月の分の実績を報告します。北見白樺ライオンズクラブさんから 25 件。それから、釧路みなとライオンズクラブから 3 件ということで、2 ヶ月で 28 件の報告がありました。で、今年のここまでの累計が 159 件ということになっております。引き続きこれはあの、続けていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。で、それに関してですね、実はあの 3 回目の ZOOM でのキャビネット会議でも報告したんですけども、ヘアドネーションのツールを作りまして、キットですね、キットを作りまして、それを実は第 1 リジョンがもう配布してあったんですけども、皆様方に、その第 2 リジョンから第 5 リジョンまでの皆様方に配布することができませんでしたので、今回持ってきましたので申し訳ない、あの諮問委員会があるゾーンの方は諮問委員会で各クラブに配布していただきたい。もしなければですね、申し訳ないですけど、各クラブに配布していただければと思ひまして今日持ってきましたので、どうぞ配布の方よろしくお願いいたします。それで簡単な説明なんですけども、これあの袋の中にですね、各クラブ用の案内とかお願いの紙とですね、それからあのクリアフォルダーに入ったキット、これが入っております。各クラブ分入っております。お願いの方はクラブに 1 枚ですけども、キットの方は 1 クラブに 2 キット、2 セット入って

おりますので、1 クラブに 2 つずつ配っていただければというふうに思っております。それであの、これなんですけど、まあ、あのゾーン・チェアパーソンの説明の方にも簡単な流れが書いてありますので、まずこのキットをですね、各クラブの、例えば奥様を通してですとか、美容室の方に何とか置いていただきたいと。その時に美容室用のお願いの紙も入ってます。そこにはヘアドネーションの意義とか、我々のライオンズクラブをやる意義とか、そういうのが書いてありますので、その辺も説明しながらですね。置いてお願いしてきていただきたいというふうに思います。そしてそのキットの中にですね。ドナー情報という紙もあります。ここには、提供していただいた髪の毛を提供していただいた方の情報を書いていただくということになります。匿名希望であれば匿名希望というふうに書いていただいても結構です。で、これはクラブの方で保管していただきたい。あの、一応これも一応美容室の方にお渡しするんですけども、あのドネーションがあった時点、提供があった時点で、これに記入していただいて、クラブの方で戻って保管するということになります。そしてあと肝心の髪の毛を入れるジップロックが入っています。これにはあの市町村名とドナー名と、それからライオンズクラブ名を書く紙が入っておりますので、これを記入して、髪の毛を入れて、クラブの方へ持ってきて、クラブで送るということで、美容室さんがもしこういう提供があった時には、これに髪の毛を入れて、そしてドナー情報と一緒にですね、クラブの方に連絡いただいて、クラブで取りに行くか、あるいは届けてもらうかということで、これをクラブで持ってくる、クラブに持ってくる。そしてクラブの方からレターパックで書いてありますけど、ヒーローっていうところなんですけれども、そこに送っていただくということになります。そうすることで、ええ、ヘアドネーションが 1 件達成するということになりますので、ぜひともご協力いただいて、お願いしたい。実はあの島根ライオンも引き続きこのヘアドネーションに力を入れていくということですので、その下地づくりにもなりますので、ぜひとも大変遅くなって申し訳ないんですけども、これでちょっとヘアドネーション、あの、各地区ですね。力を入れて、またそれをできれば PR をしていただいて、会員増強にでも少しでもつながればというふうな希望を持っておりますけれども、ぜひご面倒をおかけしますけれども、ぜひご協力の方、よろしく願いいたします。それから、あの、前回もあの、報告しましたけれども、FWT がですね、今度 WYPT というふうに名称を変えます。でも内容的にはこの女性会員、それから若い会員の加入、そして事業推進ということで、また引き続きヘアドネーションをやりますので、またよろしく願いいたします。以上です。どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

13. 地区 GET コーディネーター L. 村山 聡

はい。皆さん大変ご苦労様でございます。GET の村山でございます。今年度、新クラブ結成という、向けてですね、奔走して頑張ってまいりましたが、本当にクラブを一つ作るというのが大変なことだったとつくづく今身に染みて感じているところでございます。その中でありますけれども、3 月末にですね十勝清水ライオンズクラブは解散をされたということであります。またあの 6 月末に 2 リジョンでですね、2 リジョンの中でまた 2 つクラブは解散するという情報がちょっと入ってきます。ええ、本当にあの各ゾーンのゾーン・

チェアパーソンの皆さんにですね、この解散のクラブに向けてはですね、いろいろ働きかけをしていただきながら、なんとか残留に向けてのあの行動をしていただいていることだと思いますけれども、ええ、本当にクラブを一つ作る方の立場の身からするとですね、ええ、簡単にクラブが減っていくというのがすごく残念なところでもありますので、本当にゾーン・チェアパーソンの皆さん、最後の最後までですね、クラブの残留に向けて、最低5人で支部クラブ結成できますので、そういった動きもですね、ぜひしていただきたいと思っております。で、新クラブ結成でありますけれども、我々のあの第4リジョン、第2ゾーンの中でですね、何とか、若い人を集めてということで今頑張っておりますけれども、2月の21日に地元名寄を含めたですね、近隣市町村からですね、約10名ほどの若い方が集まっていたきました。それでですね、今回あの東北海道WEBライオンズクラブのですね渡部会長、そしてええ、今井幹事、そして北見白樺ライオンズクラブのですね献眼推進委員長、山中ライオンをですね、お越しをいただいてですね、いろいろ若い人らと、ええ、こういう懇談を持たせていただいて、ライオンズとはなんだというような部分もですね、含めて、お話をさせていただきました。まあ、ちょっと硬くなりすぎたものもあったかもしれないけど、まあ、あの賛同してくれるメンバーとちょっと逆に控えのメンバーも何人かいるんですけれども、そんな中で今活動しています。で、あの、あと残り3ヶ月ありますが、そこからですね。もう少し輪を広げていきながら、少しあのサークルをやっているような、そういうスポーツを中心にサークルをやっている、そういう仲間たちもですね、少し引き入れながらですね、いろんなサークルを集めて、なんとか結成に向けていきたいと思っております。ぜひ釧路キャビネットにもですね引き継いでいけるようにですね、今奔走しておりますので、また皆さんのご協力よろしくお願いいたします。以上です。

14. 各委員会報告

長期計画リサーチ委員長 L. 藤原 回向

皆様お疲れ様でございます。長期リサーチ委員会報告を申し上げます。長期リサーチ委員会皆様方ご存知の通り、これからの331-B地区のこれからの将来についての話し合いをするのが委員会の役割であろうかと思っておりますけれども、その中でもって、これからの331-Bのリーダーとなっていくガバナーになっていただく方々の、それぞれにつきましてのことを委員会にもって話し合いをいたしましたで、皆様方のお手元にあります議案書から議案第1号から4号までで、皆様方のところにお手元に議案として先ほどご承認をいただいたことでございますが、事前にそのことにつきまして話し合いをいたしまして、長期リサーチ委員会におきましてはこのとおり、委員会として承認をいたしまして、ガバナーにご報告を申し上げ、ガバナーから皆様方の方にこうして議案として提案されたところでございます。ただいま皆さん方にご承認をいただいたところでございます。また、その他にもですね、ガバナーに対する立候補の意思を表明されている方がお2人いるということ。そのことにつきましても、長期リサーチ委員会でもって話し合いをいたしました。その方の名前はここで申します。ライオン浅野、ライオン村山、このお2人がガバナーに立候補の意思を示しておられるということを、長期リサーチ委員会の中でもってお話し合いをいた

しました。このことは、長期リサーチ委員会にもって話し合ったということでございますので、次期のキャビネットに当然に引き継がれていたことであろうというふうに、でございます。それで、そのことを話し合って、はい、そうして承認いたしましたということを、ここでご報告いたします。最後に、次のキャビネットは釧路にある。そして、年次大会も釧路で開催されるということも話し合いをいたしまして、ご承認をいたしました。以上で長期リサーチ委員会のご報告に変えさせていただきます。

大会委員長 L. 田尾 忠正

はい。このたび地区大会委員長を兼務せよということになりましたので、どうかよろしくお願いをいたします。地区委員会よりご報告をさせていただきます。第 71 回地区年次大会は、皆様ご存知の通り 5 月 24 日、土曜日に行われます。前日の 23 日金曜日に記念ゴルフ大会を 120 名のライオンのご参加をいただいて開催する予定になっております。従来は前日のゴルフ大会のみでしたが、今大会は前大会委員長が北見の街を十分に楽しんでいただきたということの前夜祭というものを企画いたしております。北見は焼肉で名前が知られております。街の中にもたくさん焼肉店があるわけでありましてけれども北見赤十字病院の前に小公園という公園がございます。その小公園の中央通りというメインの通りを挟んで、中央公園という公園がありますが、ここを会場として焼肉を行いたいというふうに計画をいたしております。参加を呼びかけましたところ約 150 名のライオン、ライオンパートナーの参加をいただくことが予定されております。ゴルフ大会の表彰もこの場で行いたいと思っております。式典は翌 24 日土曜日、北見市民会館で約 800 名のご登録をいただきたいと思います。12 時に代議員登録の受付、13 時に代議員の総会、14 時に大会式典の登録受付、15 時 10 分から 17 時まで大会式典を行います。終了後、シャトルバスで晚餐会会場の道立北見体育館にご移動を願ひまして約 630 名ほどの参加をいただいて晚餐会を行います。現在、鋭意準備中でございますので、どうかよろしくご支援のほどお願い申し上げます。

会則、コンプライアンス委員長 L. 白川 利幸

会則、コンプライアンス委員会からご報告申し上げます。第 4 回会則委員会が開催されております。この議事録の内容についてはですね、お手元の資料の 34 ページから 37 ページに掲載されておりますので今一度、目を通していただきたいと思います。簡単ですが報告いたします。

国際大会・国際協調委員長 L. 岡村 廉明

国際大会・国際協調委員会からですが、お手元の資料の中に 9 ページにですね、11 月 25 日に開催されました第 4 回理事会の議事録、その中にええ、オセアルフォーラムのパタヤの概要報告がされておりますので、ご一読ください。またええ、同じく 19 ページからです

ね、第 5 回国際大会委員会が 12 月 4 日に開かれました。その議事要録が入ってございます。ええ、これにつきましても、ご一読いただきたいと思います。ええ、もう委員長を受けて、ええ？何ヶ月？ 9 ヶ月ぐらいですか？ええ、やっと何をやってるのかだんだんわかってきたのと、だんだんわからなくなってきたっていうのが印象です。この議事録、今あのご紹介しましたが、この会議につきましてもは国際大会委員会、これにつきましてもは、一切私に何の連絡もなく開催されておりまして、今これ 12 月に開かれたことが、今こうやって出てきて、そしてこの最後に、次の会議は 1 月 20 日だからよろしくということで書いてあるわけで、これはもうとっくに過ぎています。これはどういうことなのかっていうわからない、ということで、ええ、思い返すと、やっぱりあの、ええ、上の方に決まったことを、ええ、皆さん、あの地区ライオンズの各クラブの方々に、ええ、広めるための役割しかないのかなというふうに思っております。でええ、先日、キャビネット事務局の方にええ、問い合わせをしましたところ、ええ、国際大会のええ出席人数について、ええ情報をいただきましたのでご紹介いたしますが、ええ北海道ええ MD 331 からは合計 57 名、ええ大会登録のみということも合わせて 57 名ということです。で、A 地区からは 34 名、B 地区から 16 名、ええ C 地区から 7 名ということで、ええ B 地区、私、B 地区ですけども、ええうちの夫婦と、ええ、同じクラブの夫婦と 4 名、そして伊東ガバナーがご夫妻ということで出席してくるということでございます。まだ締め切ったわけではございません。いろいろインターネットを見ますと、楽しそうな場所でございますので、ぜひ皆さんですね、お誘い合わせの上ですね、行きませんかという具合に、ここで提案をさせていただきます。それともう一点、10 月に開催されますオセアルフォーラム札幌でございます。大島副地区ガバナーが中心となって開催される、まだ 2,800 名ぐらいしか参加が見込まれていないということで、ぜひこれについてもですね、私たちの地区からも 750 名の参加を要望されているということでございますので、750 をクラブ数で割ると、どれぐらいの人数がいかなければならないかというのは簡単に計算できると思いますので、私からはあの正確な数字は申し上げませんが、そこをきちっと考えていただいてですね、これも札幌、早く予約しないとホテルがなくなりますので、ぜひ、ええ参加をいただきたいと、ええ強くお願いを申し上げます。あともう一点。あの、ええ、これ、私の個人的な意見になるんですが、ええ、私の委員会は国際大会・国際協調委員会、ええ、委員会でございます。ええ、国際協調ということに関して、第 1 回のキャビネット会議で、ええ、ちょっとしばらく考えたいということを申し上げたんですが、申し上げたんですが、ええ、ここに来てですね、ええ、私個人の意見なんですが、ええ、これを、うん、ライオンズクラブで推し進めるためには、あの、皆さんご存知の SDG s という部分、これを各クラブ各、例えばそれぞれの会社で、ええ進めていくことが一番の国際協調になるのかなという感想を持っております。ええ、だからといって、このキャビネットでどういう、どうのこうのするつもりはないんですが、先ほどたまたまあのええ大島副地区ガバナーからありました、あの、ええ、海洋のプラスチックのこれに関しても SDG s に関して非常にあの重要な部分を占めておりますので、このことに関しても、これから、このキャビネット以降ですね、ぜひ皆さん取り組んでいただきたいと、個人的なご意見を申し上げて、報告とさせていただきます。以上です。

すみません。岡村委員長、今お話があったオセアルフォーラムについて、少しだけお話をさせていただければと思います。今は 2,800 名ぐらいということでございますと、岡村委員長からですが、4月1日現在の、早期登録の詳しいお話を少しだけさせていただきたいというふうに思います。日本国内では、2,859 名の早期登録がございます。目標は 10,000 名です。10,000 名ですので、今のところ 3 割ぐらいということでございますので、まだまだこれからということでございます。国内で 10,000 名、331 では 3,000 名の目標、それから北海道以外では 7,000 名の目標ということでございますが、331-A では現在 953 名、331-B では 256 名、331-C では 148 名ということで、C よりはいぶリードしているところでございますが、目標が先ほど岡村委員長からありましたように、まだまだ高いので、これからいろいろと検討して、ぜひ参加していただければと思います。今のところ参加の意向を示していただいているのが、27 クラブでございます。303 名、先ほど言ったお話は、振り込み完了が 256 名、参加の意向が 303 名ということでございますので、これからまだ半年ありますので、ぜひ検討していただければと思います。もうすでにクラブ全員登録をしていたクラブもいくつかございます。本当にありがとうございます。これから時間はありますが、だんだんホテルが少なくなってくるというか、高くなってきますので、ぜひ今のうちに予定をしていただいて、何とか参加していただければと思います。せっかくの世界大会です。オランダに行くのはかなりハードルが高い。それに対して札幌に行くのはかなりハードルが低いかなというふうに思いますので、オランダに行く思いをしたら陸もつながっていますので世界的な国際的な大会の雰囲気ぜひ味わって世界とライオンズクラブがつながっていることを実感していただければと思います。まだそういう国際大会にいらっしゃっていただけない方はそういうことを実感できるんじゃないかなと思いますので、なんとかたくさんさんの参加を願いたいと思いますのでよろしくお願いします。

薬物乱用防止・献血献眼委員会委員長の山中大輔です。まず冒頭に皆様にお詫びを申し上げます。昨年から多くの依頼で薬物乱用防止教育認定養成講座、こちらの開催を銘打って昨年から各所を回り、開催に向けて準備をしてきておりました。そして、4月の25日にウェブとリアル併用の北見開催を準備しておりましたが、今回中止という運びになってしまったことを、この場をお借りしてお詫びいたします。申し訳ございませんでした。多くの皆様ですね、多分期待をされて各クラブでの方針として来年度の活動に関して準備をされてきたことと思います。この薬物乱用養成講座、こちらはですね、小学生の皆様にとんどんどん薬物が増えている中で、これを教育機関、そして保健所、そして警察のかわりに我々が講師として入ることによって防止をするという奉仕活動の一つでございます。これが3年の認定がありまして、3年で更新が切れてしまうということで、このコロナ禍は全く開催が難しかった中で、今年何とかしてでも開催をしたかった。そういうところで、東京のセンターとも打合わせながら、広い 331-B 地区の広大な大地でございますので、公式にもウェブを使った開催であればということで、ウェブとリアル併用の開催を委員会か

ら企画したところでございました。しかしですね、皆様ですね、いろいろと活動の計画も立っていたと思うんですけれども、今回ですね、中止という判断をさせていただきました。そのことについては、なんとかですね、子どもたちに対して開催をしたかったなということで、試行錯誤はしたんですけれども、今回できなかったことに対して心からお詫びを申し上げます。この私たちが準備してきた部分をですね、来年度、釧路地区にですね、しっかりと書類として私は準備をさせていただきました。ぜひ来年度開催する際ですね、ぜひとも私も可能な限りお力にならせていただきたいなというふうに思いますので、我々もしっかりと子どもたちの講習と向き合わせていただきたいなというふうに思っております。まずはですね、今回で4回目と最後ということですので、北見キャビネットを始めとしまして、331-B 地区の皆様にも多くの学びをいただきました。この場をお借りして感謝を申し上げます。この場をお借りして感謝を申し上げます。薬物乱用防止・献血献眼委員長の報告とさせていただきたいと思います。ありがとうございました。

レオ青少年育成、アラート、YCE 委員長 L. 浅野 敬一

皆さん、こんにちは。北見中央ライオンズクラブの浅野です。今年も、もう終わりですね。皆さんとこうしてお会いできて、皆さんの顔を見るのが非常に楽しみです。本当にキャビネット会議っていいなと、いつも思いますね。だから、難しい話もあるんですけど、難しい話以外、皆さんと交流できること自体が、やっぱりキャビネット会議の素晴らしいさだなと、いつも思います。皆さん、たまにしか来ない顔もよく見れるし、本当に嬉しいですよね。なんていうことは置いてきまして、アラートのお話をさせていただきます。YCE に関しては、後ほど佐藤副委員長の方からお話をさせていただきます。アラートはですね、331 地区アラート規定というのを私が作りましてですね、前回のエコー誌に載せていただきました。大々的に。それをよく一読いただきましてですね、皆様の災害が起きたときにどう動けばいいのか、どうすれば一番効率的な動きができるのかということを書いてありますので、ぜひご一読をいただきたいと思います。それから茨城県の水戸市でアラートフォーラムというのが3月15日に行われました。331 地区から8名の参加、本来は10名お願いされていたんですが、全国で500名集めようということでやりました。集めたら530名ぐらい集まったんですよ。キャパが500名しかなかったのですから、30名の皆様にはご辞退をいただいたというぐらいの人气があったという、今までこんなに人気なかったんですけど、急に人气が出まして、30名の方がご辞退いただいたということで、非常に盛大な素晴らしいフォーラムになったと思います。それと、331-B 地区なんですけど、ボランティアセンターと災害協定なんですけれども、これも徐々になんですけれども、着実に進んでまして、A 地区、C 地区に比べてもですね、B 地区の進捗具合はちょっと飛び抜けています。おかげさまで、もう本当に皆さんのおかげです。私、ガバナー協議会にいても、ちょっとでかい顔ができます。その前はビリだったので、ちっちゃくなったんですけれども最近ちょっと図に乗ってます。本当にありがとうございます。皆さんのおかげでございます。最近日本政府の発表でですね、南海トラフがきたら30万人が死に、関連死が5.2万人だと言われてますけれども、南海トラフの場合は北海道の方にはあんまりこう被害はないのかなと思うんですが、千島の方で起きると、釧路の方で14万人死ぬという新聞に出てま

した。ですからやはりその辺、防災も大変なんでしょうけども、やっぱり災害協定を結んでもらってですね、あ、もう結んでもらってるんですけども、何かあったときには迅速な動きをしていただければと思います。また、山火事、大船渡、岡山、今治、この辺で起きましたけども、人的被害はさほどでもなかったということで、今のところ LCIF に働きかけているのかどうかというの、ちょっと私の方には何の連絡もありません。アラートの方でも動きはありません。またミャンマーの大地震、これにおいてもですね、まだ今のところ私のところには何の援助要請もきておりません。ただ今後死者がですね、今 2,000 人を超えているのかな、まあ 3,000～ 4,000 ってなってきた、被害も多くなってきたということになると、ひょっとしたら LCIF の方からですね、皆様にご協力のお願いが来る可能性もございます。ですから、まあ本当に LCIF 献金っていうのがですね、まあ、先ほどあの伊東ガバナーの方からお話がありましたけども、A 地区、B 地区、C 地区、A 地区 110%ぐらいいってるんですね、ガバナー協議会で話聞いたら。B 地区は半分くらいですね、C 地区がね、95 ぐらいいって、なんで B だけいけない？ここんところですね、皆さんよく考えていただいてですね、その LCIF に対する広報をですね、していただきたいんですね。なんでこの LCIF が大事なのかということをもっとこれ伝えていかないと、もうどんどんじり貧になりますね、B だけ。A と C はね、きちっとやってますよ。B だけなんで金出したらこのライオンズクラブは金ばかり取るんだみたいな話になるんだ、そんなことじゃないです。取るんじゃない、現金を上げる、世界を救うんだという気持ちをね、心から持っていたきたいなと思います。まあ、アラートとも関係ありますんでね。あの、ぜひお願いしたいと思います。私の方からは以上です。あとは佐藤委員長にお願いいたします。

レオ青少年育成、アラート、YCE 副委員長 L. 佐藤 豪一

みなさん、こんにちは。副委長の佐藤です。もう少しですから、頑張ってください。ええ、僕の方からですね。レオ青少年育成委員会からの報告をまず先にさせていただきます。で、今回レオクラブはですね、先月 3 月 8 日に釧路にて、2025 年の YCE 事業でフィンランドに派遣される、標茶高校の生徒さん 2 名をゲストに迎えまして意見交流会というのを行ってまいりました。レオメンバーと派遣生との交流、意見交換とですね。海外へのいろいろな思いを伝えたりとか、経験を話し合ったりとかしまして。ええ、非常にいい会議になったことを報告いたします。で、ええと、やっぱり若い人同士のつながりですから、あっという間に溶け合って、話し合いをしてたというのが印象に残りました。次に、あの YCE 委員会の方からも報告いたします。7 月 13 日より始まるこの YCE、夏期派遣事業ですけども、今言いましたけども、B 地区からは標茶高校の 2 名が派遣されます。ええ、フィンランドですね。で、受け入れの方につきましてはスイスから 3 名でフィンランドから 1 名、合計 4 名が受け入れが決定いたしました。受け入れクラブは津別ライオンズクラブさん、標茶ライオンズクラブさん、北見中央ライオンズクラブさん、ええ、釧路みなとライオンズクラブさん、そして、うちの帯広かしわライオンズクラブの 5 クラブとなりました。前回の第 3 回のキャビネット会議で、突然皆さんにあの、今受付しておりますということでお願いしましたけれども、快く引き受けが 5 クラブでしていただいたということで、非常に感謝申し上げたいと思っております。この度はありがとうございました。以上です。

マーケティング・IT 委員長 L.伊藤 慎司

マーケティング・IT 委員会より報告いたします。エコー誌も残すところ1回となります。年次大会終了期間まで、編集に励んでまいりますので、寄稿等も含めて、よろしくお願いいたします。この場をお借りしまして、本当に各クラブ、各委員長、いろんな方に記事など依頼して、快く寄稿いただいたこと、誠にありがとうございました。

平和ポスターコンテスト委員長 L.折笠 充

平和ポスターコンテスト委員会よりご報告いたします。本年度の国際平和ポスターコンテストは「限りない平和」をテーマに地区内合計 39 点の作品が応募されました。改めて各クラブの皆様のご協力に深く感謝を申し上げます。ありがとうございました。応募作品の審査は昨年 11 月 25 日に北見キャビネット役員を審査員として、作品の独創性、芸術性、テーマの表現力を基準として行い、入賞作品を決定いたしました。応募者の皆様がテーマについて真剣に考えて制作してくれた作品ですので、どの作品も力作でありました。当地区の最優秀賞には、本別中学校二年生の佐藤みのりさんの作品が選ばれ、331-B 地区の代表として複合地区の審査に提出いたしました。他に優秀賞 1 点、敢闘賞 3 点、佳作 4 点、ガバナー賞 4 点については入賞作品として賞状と記念品を贈呈し、応募者全員に参加賞を贈呈いたしました。来月行われます地区年次大会で応募作品全点を展示いたしますので、ぜひご覧いただければと思います。この平和ポスターコンテストは子どもとともに未来の平和を考える歴史あるライオンズクラブの国際事業です。来年度も多くのご協力をいただきますようお願い申し上げます。

15. 質疑及びその他

キャビネット運営副委員長 L.松田 佳陽

質疑等がございましたら挙手の上クラブ名とお名前をお願い致します。

地区 GMT コーディネーター

L.矢吹 定夫

帯広平原ライオンズクラブの矢吹です。あの公益財団法人日本ライオンズ、結構あるんですけど、やってる事業はですね、ええ、寺子屋事業と身障者のフットサル、あの札幌の小野寺眞悟さんが理事長を務めます。これにですね、ええ、1 人 2,000 円の寄付をええ、お願いされていると思うんですけども、まあ、ええ、心ある人は 2,000 円でも 100,000 円でもいいんです。この辺をね、北見キャビネットとしてどういうふうに捉えているか、そこをお聞きしたいんです。

ご質問ありがとうございました。ええ、財団ということで認められてから2年になります。ということでこの財団は、LCIFとの関係も正式に結ばれたということで、世界的なライオンズとしては完全に認知をされた、認められた財団になっておりますが、私どもも資料を拝見すると、まあ当然委員会もありましたし、昨年の夏にはMDでの勉強会でいただいた資料の中に北海道新聞、北海道新聞の記事は第8回小野寺、その財団のフットサルという表現の新聞記事もあって、なおかつそれが日本の財団の中では第1回目のフットサルのあの大会でしたよというような表現になっています。ですので、あのおこなっていることも何も問題ないし、ええ、日本の政府から、いわゆる公益財団として認知をされているので、現時点での会計は公益財団の監査というのはものすごい厳しいです。それをクリアしているので、数字的なものは問題ないというふうに判断をしているんですが、そういう北海道新聞第8回というような表現があるので、誤解を招くというところを、まあ、伊東ガバナーも私もそういうところは懸念はありますけどねということなので、ええ、日本財団から来たパンフレット等は各クラブにええ、各々何部ずつか行っているかと思いますが、その寄付についてはあの各クラブもしくは会員の方々の判断にお任せしますという形が331-B地区の今年のええキャビネットの一応基本的な考え方になっていると。私もまあ特別委員長ということで何がしかをさせていただくんですけど、当然、会社名で出せば、決算の時に法人の項目として利益を圧縮できるような形の領収書がいただけますし、個人の名前で出すと確定申告の時に使える領収書がもらえているので、その部分は私自身も私が見聞きする範囲の中では問題ないかと思いますが、なにぶんそういうあの勉強会の時に出てくる新聞記事を見たときに、そういう書かれ方をすることというのは、まだまだその法的な部分の整備が、あの、まだ小野寺さんの個人の財団の事業のようにフットサルについてはなってる、あの寺子屋については、全国各地のいわゆる、えっと児相と呼ばれる児童相談所の中に備えた中で、勉強なんかなかなかあの、考えてない、そういうものを私的な塾として、そのライオンズが入れたお金の中で、あの大学生なんかが勉強をしていただきたいということを行っている事業なので、内容自体は私自身もあの伝わっていくことをやっているとありますが、こういう疑念を抱かれていることと、そのスタートの事業があの公益財団を取る前の時にあのキャビネットやなんかに応援をしてほしいと言った時の第1回目のフットサル、この収支決算が当時は藤原ガバナーの時だったと思いますが、収支決算を報告をしてほしいというお願いをしたけど、一切報告がなかったという事案もあって、あの個人的にそこについて思うところのある人はいらっしゃるかというふうに思いますので、まあ、そんなことの中から、ええ、稚内キャビネットで、そのキャビネットの中では、あくまでも個人の考えということで対応を委ねているというのが、キャビネットのスタンスだというふうに、あの、私はガバナーから聞いておりますし、私もそう思っております。以上です。

はい、あの、たまたまですね、あのガバナー協議会にまあ、浅野ライオンですけども、あの、ええ、まあ、行きましたら必ずこの話、出ます。LCIF の話しも、さっき浅野ライオンおっしゃったように、僕はね、説明不足だと。両方とも。やっぱり LCIF の素晴らしさの説明、あと今のええと、小野寺眞悟さんがやってることの素晴らしさっていうのをですね、やっぱり、もうちょっと伝えてほしい。私のこれ意見です。どうぞよろしく。

第一副地区ガバナー L. 大島 尚久

はい、私も素晴らしい事業だと思って見てましたが、331-B 地区も実は恩恵を受けているんですね。釧路にも支援学校がありますが、331-B 地区に所属している支援学校が 5 校か 6 校参加しています。ですから、その方たちに参加費として使われているということと、もう一個は釧路にも、まりも学園があるんですが、そこにもアプローチして入って来ると。それから旭川にも入ってます。ですから、これから 331-B 地区もそれについて全く無視はできないわけです。恩恵だけ受けて全く無視するというのもないと思っております。ただ、会計とかいろんな報告、もう少ししっかりしていただければと思って、事業自体は素晴らしいなというふうに思っております。私からは以上です。

第 4R 第 1Z ゾーン・チェアパーソン L. 柳澤 豊

はい、すみません。えっと、お時間のないところ、申し訳ございません。あの大島第一にどうしても聞かなきゃならないことがございましてですね、あの、あ、その前に第 4 リジョン第 1 ゾーン、ゾーンチェアパーソンの留萌みなとライオンズクラブ所属の柳澤でございます。えっと、第一、申し訳ございません。あの、もうお忙しいのもわかってますし、それから MD 331 に行った時に、まあいろんな話の中で大変だっというのわかるんですが、で、先ほどのオセアルの話です。オセアルで日本でまあ 10,000 人を目標にしているということなんですが、全体のキャバとして何名目標にされてましたんでしょうかね。全体的な、はいそのものの登録、登録を目標にしているんですか

オセアルフォーラム運営特別委員長 L. 大島 尚久

12,000 人です。日本が 10,000 人、そして海外が 2,000 人なんです。これ 2,000 人は非常に少ない目標かなと思ってのんですが、これ不確定要素があって、やはりあの韓国の、今回あの親日派のユン大統領があつたということで、ええ、これ反日派の大統領なんかも 10 月近くに決まるんですか？まあ、そろそろ決まるんですかね。まあ、6 月に決まるということになるとですね、反日運動が盛んになってしまうと、またこれ、ええ。かなりマイナス要素になっちゃっているというふうに思います。

第 4R 第 1 Z ゾーン・チェアパーソン L. 柳澤 豊

いや、わかりました。はい。あの、先ほど 10,000 人っていうのがジャパンだけの 10,000 人なのか、全体の 10,000 人なんか、ちょっと納得いく…聞き取れなかったもので、ジャパンで…

オセアルフォーラム運営特別委員長 L. 大島 尚久

日本が 10,000 人で北海道は、目標ですよ、3,000 人。その他は本州、四国、九州合わせまして 10,000 人。合計で 12,000 人。

第 4R 第 1 Z ゾーン・チェアパーソン L. 柳澤 豊

で現在、今、あのまあ、4 月の、4 月に入りましてええ、現在登録されている人数がデータとしては…

オセアルフォーラム運営特別委員長 L. 大島 尚久

3,000 人弱ですね。4 月 1 日の段階、要するに早期登録の数字が 2,800 人。まあ 3 割弱でございます。まあ、これから追い込みをかけないといけない。

第 4R 第 1 Z ゾーン・チェアパーソン L. 柳澤 豊

そうですね。まあ、数字としては理解します。で、えっと、第一に聞きたいのはええ、いわゆるこの大会においての、まあちょっとあのざっくりとしたね、例えばあの予算書だとか、そういうものって見たことあるんでしょうね。

オセアルフォーラム運営特別委員長 L. 大島 尚久

はい、もちろんあの、えっと、だいぶ前ですが、第 68 回の年次大会で予算書を。大まかな、ざっくりとした予算書になってます。

第 4R 第 1 Z ゾーン・チェアパーソン L. 柳澤 豊

はい。例えばあの、次回、来月、ええ、複合の大会でございますが、ええと、ガバ協ですか、ええと複合の大会ですね。ええと、ありますけれども、その時に例えば、ええと、その予算書みたいなのは皆さんに出すとかっていう計画はあるんですか

オセアルフォーラム運営特別委員長 L. 大島 尚久

ありませんが、多分ないと思います。今、必死にいろいろなことを準備している段階でございまして。

第 4R 第 1 Z ゾーン・チェアパーソン L. 柳澤 豊

いや、ちょっと、あれ、じゃすみません、聞いていいですか？すみません、あの、というのはね、あの、要するにえっと、その 10,000 人目指していたって。で、そこで 331 としては 3,000 だって、まあいいんですけど。えっとまあ、18,000 円の登録料で、こちらの方のええざっとしたええ、その予算書だとかなんとかって、見てみたいなってずっと思ってるんですけど、あの我々の目には届くことがないで終わっちゃうんでしょうね。

オセアルフォーラム運営特別委員長 L. 大島 尚久

まあ、この第 68 回年次大会には出ておりますので、もしあのよろしければ、後でお見せします。ここにあの、ざっくりと、あの予算案が出ておりますので、後でよろしく。

第 4R 第 1 Z ゾーン・チェアパーソン L. 柳澤 豊

わかりました。

オセアルフォーラム運営特別委員長 L. 大島 尚久

ただ、まあ、だいぶ前の話なので。ええ、あの少し…

第 4R 第 1 Z ゾーン・チェアパーソン L. 柳澤 豊

その物価とかいろんなことが上がってるんで、かなり経費的なものがね、ちょっとかかるような気がするんですよね。はい、この大丈夫なのかなって。この登録料で大丈夫かな？みたいな心配が非常に…

オセアルフォーラム運営特別委員長 L. 大島 尚久

その時の予算でいくと、早期登録が 110 ドルですから、当時 16,000 円か 17,000 円の見込みで 18,000 円よりも低く、計算では少ないですね。はい。ですからまあ、実際には少し変わってます。

第 4R 第 1Z ゾーン・チェアパーソン L. 柳澤 豊

わかりました。またあの、徐々に徐々に、あの、はい、登録をまた増やさなきゃなんないなという気がしております。ありがとうございます。

オセアルフォーラム運営特別委員長 L. 大島 尚久

ええ、心配していただいてすみません。ありがとうございました。

地区ガバナー L. 伊東 隆志

先ほどはゾーン・チェアパーソン会議の中で、ゾーン・チェアパーソンの皆様にはお願いをさせていただきました。それはどういうことをお願いしたのかということ全体で共有したいと思ひまして、お話しさせていただきます。あの、LCIF の関係なんですけれども、僕、ガバナーになりまして、ゼロクラブをなくすというのが一つの目標であるということで、進めさせていただいているところでございます。それでですね、ゼロクラブ、どうしても、信念を持って LCIF に寄付したくないんだっていうところもあるかもしれませんし、たまたま、なかなかいろんな事情を持って LCIF に寄付ができてないだけなんだと、いろんなクラブがあろうかと思ひます。で、そこでですね。もし各クラブの反対がないのなら年次大会の募金箱を、年次大会の募金箱は、誰がその中にお金を入れるかわかんないですよ。で、その募金箱をですね、全クラブで割ってですね、LCIF に寄付したいというのが僕のお願ひなんです。で、それを各クラブの方がそれでいいよと言ってくれるかどうか、それをゾーン・チェアパーソンにお願いしております。各クラブの意見を聞きましてですね、一応プライドあるから許さないとかいうクラブが一つでもありましたら、その方法はとりませんので、そういうやり方をやっていいのかどうか、ぜひですね、各クラブに聞いていただきたいと思ひます。以上でございます。

レオ・青少年育成、アラート、YCE 委員長 L. 浅野 敬一

すいません、あの北見中央の浅野です。ええ、今ガバナーがおっしゃった、その年次大会で、箱にチェーンだとかってポイポイって入れますよねえ。誰が入れたかわからない、その誰が入れたのかわからないっていうやつはどうするんですか？それはキャビネットとして LCIF ということ？ゼロクラブに分ける？

地区ガバナー L. 伊東 隆志

それをですね全クラブで割ってですね全クラブがそれを出したんだという形で割ってですね、それを LCIF に寄付したいなというふうに考えております。

レオ・青少年育成、アラート、YCE 委員長 L. 浅野 敬一

それでゼロクラブが、そこに埋めて、それはちょっと今、理解できない。

地区ガバナー L. 伊東 隆志

あとですね、年次大会の記念バッチを作らせていただくんですけども、この年次大会のバッチの作成料、制作料、これ僕の寄付で作ろうと考えております。これを皆さんに、これ原価 730 円、780 円だったかな、そのくらいかかるんですけども、それは、1,000 円で販売しようとしております。差額 200 何 10 円、これを LCIF の方に寄付しようというふうに考えておまして、それも現地で買ったものについては、その年次大会で買ったものについて、誰が買ってるかわかんない状態ですよ。それは金額が出ます。募金箱の金額が出ます。で、それを全クラブで割って寄付する方法はどうなのかなというふうに考えています。

レオ・青少年育成、アラート、YCE 委員長 L. 浅野 敬一

はい。それは妙な話な気がします。私はゼロクラブをなくすってことは自主的に出したゼロクラブ、それでゼロクラブをなくすんだったらわかるんですよ。それを我々が例えば 10,000 円入れました、5,000 円入れました、で、それをゼロクラブのところにこう分けて入れて、じゃあこれでゼロがなくなりました、これはなんか、あまりにも安易だと。それはちょっとありえないんじゃないかと思う。それだったら我々出しますよ。直接。LCIF、まあ今回も出すけど、その方がいいじゃないですか。で、今回ね、ガバナー、申し訳ないけどボウリング大会やりましたね。2,000 円集めました。ゼロクラブの参加はありましたか？

地区ガバナー L. 伊東 隆志

えっと、ないところもあります。

レオ・青少年育成、アラート、YCE 委員長 L. 浅野 敬一

何件かはゼロクラブのところも参加はしていただいているってことです。

地区ガバナー L. 伊東 隆志

すみません。今日、資料を持ってきてないんですけども。

レオ・青少年育成、アラート、YCE 委員長 L. 浅野 敬一

その辺に、やっぱり、その辺をちゃんとやっぱり管理して精査しないと、ゼロクラブ減っていかないんじゃないですかね。申し訳ない。偉そうなこと言ってごめんね。と思ったわけで、ごめんなさい。

地区ガバナー L. 伊東 隆志

前にもこの話、皆さんにさせていただいたことがございますが、やっぱりなかなか許してくれないなというところがございますが、あのゼロクラブをなくすために全クラブに分けるっていう、それはたまたまだと思っていただきたいと思います。募金で年次大会でもう各クラブからいっぱい出てきていただけますよね。で、募金箱を誰が出したかわかんない、でも金額はいくらかわかるっていう状態ですよ、それ例えばガバナーの名前で LCIF に入れたらどう思われますか？僕の名前で入れたらやっぱり変でしょう。だったらみんなに分けるんじゃないかっていう考え方なんですけど、全クラブの名前でそれを分けて…

レオ・青少年育成、アラート、YCE 委員長 L. 浅野 敬一

いや、シェアリング交付金じゃないんだから、そんなことはする必要ないじゃないですか、全く。ゼロはゼロ、だってやらないんだから。じゃあ、じゃあね、俺の思うのは、じゃあそのゼロクラブはなんでゼロなのかっていうね、どうして出さないの？出し方がわからないの？送り方がわからないんですか？それとも全くあの LCIF に興味がないんですか？その辺のね、分析をしてね、で、それなりの指導をしていくと、もしかしたら少しずつ出してくれるかなとは思うんですけども。甘いですかね。

地区ガバナー L. 伊東 隆志

はい、我々ライオンズは、一番最初に申した通りですね。心情ですとか、環境、世代、すべてが違うことは価値観？まあ、そうですね、あの、違う人が集まっています。浅野さんとこれ何ぼやりあっても多分答えが出ませんので、あの、それをゾーン・チェアパーソンをお願いしてですね、各クラブはどう考えるんだと。それを聞いていただこうと。それで各クラブの回答が、やっぱり俺やだってクラブがあったらですね、今回、僕の話は取り下げようと思ってますので、その辺、ご理解いただきたいと思います。

レオ・青少年育成、アラート、YCE 委員長 L. 浅野 敬一

それはいいと思います。

第3リジョン第2ゾーン ゾーン・チェアパーソン L. 太田 好啓

今、あの矢吹さんからご指名がありましたんで。第3リジョン第2ゾーンのゾーン・チェアパーソンの太田といいます。よろしくお願いします。えっと、SWOT分析から、今、行動計画書のお話が先ほどありました。で、今、第1ゾーンと第2ゾーンで3月17日をもって締め切りとして、ええ、各クラブの、まあ主要な三役の方から、まあ本来は全員からいただきたいんですけども、三役の方から行動計画書を今いただいております。それをまとめて今度は北見キャビネットへお送りします。それが今度まとまったものが矢吹ライオンへ回るとお思いますので、それが大島ライオンの釧路につながっていくというふうに考えておりますので、まずは報告をさせていただきます。矢吹ライオンよろしいでしょうか。他の皆さん、どうされてますか？あの行動計画書の件です。一応、あのうちのリジョンの方ではやっております。

地区名誉顧問 L. 奥山 壽雄

これ。皆さん LCIF の表を見てください。ゼロのところの方からですね、そのクラブが何年か経つと消滅してるんですよ。ということは簡単に我々が出していいもんかどうかって思うんですよ。これもう一つの考えていかなきゃいけないんですけど、今回もちょっと見ると、今回…そういうふうな噂になっているところは、ほとんど LCIF に関心を持っていないんですよ。ということはやっぱり、もうちょっと LCIF に関心を持たして、クラブを維持できる。これちょっと皆さん、私は言わないけど、さ一つと見たら、大体いろんなところが自然に消滅している。だから、ただその LCIF をやればいいというものでなくて、本来本当の LCIF の精神、そういうのをきちっとやらないと、クラブは消滅、というのが私の奥山推測です。以上です。ありがとうございます。

第2リジョン第2ゾーン ゾーン・チェアパーソン L. 菅野 道

今、ちょっと話があったんですけども、うちのクラブの、当クラブではないんですけども、他のクラブからちょっと上がってきた話で、新入会員を勧誘するのに、こういう、これは 331-C 地区の函館キャビネットで作っている、ライオンクラブビギナーズブックというのがあるんですよ。こういうのを B 地区用で作っていただけませんかという依頼が来ております。今期できるのか、次期のキャビネットで作るのかわからないんですけども、どちらかで作っていただいて、みんなに配布するなり、インターネットの方に載つけるなりして、そういうような使い方をしたいというクラブがありますので、ご検討をお願いしたいと思います。

キャビネット運営副委員長 L. 松田 佳陽

その他質疑ございませんでしょうか？以上をもちまして質疑応答の方を終わらせていた

だきたいと思います

それでは閉会宣言及び閉会ゴングを地区ガバナー L. 伊東隆志 お願い致します。

16. 閉会宣言並びに閉会ゴング 地区ガバナー L. 伊東 隆志

改めて、地域のリーダーの集まりの中で、ガバナーをさせていただいた、これは、僕にとって何にも変え難い素晴らしい経験になりました。皆さん、ありがとうございます。以上をもちましてキャビネット会議終了とさせていただきます。

2024－2025年度 ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

第4回キャビネット会議議事録について、確認の上承認します。

2025年4月14日

議 長 地区ガバナー L. 伊東 隆志

議事録作成 運営委員長 L. 田尾 忠正

議事録署名人 キャビネット幹事 L. 二宮 雄一【押印省略】

議事録署名人 キャビネット会計 L. 山田 兼士【押印省略】



2024-2025年度ライオンズクラブ国際協会331-B地区キャビネット組織表

【国際デーマ】 We Serve (われわれは奉仕する)

【2024-2025 ガバナースローガン】

【国際会長メッセージ】足跡をしるす

明るく、楽しい、ライオンズ

国際会長
Lファブリシオ・オリベイラ

[illegible]

事務局長	遠藤 めぐみ
事務局長	工藤 かずみ
事務局	



北見キャビネット事務局

〒090-0024 北見市北4条東4丁目3 伊東ビル3F

TEL 0157-33-4445 FAX 0157-33-4446

E-mail : kitami-cab@hyper.ocn.ne.jp